

マリンオープンイノベーション(MaOI) プロジェクト関連研究

(予算区分 行政費 研究期間 2019 年度～)

担当：水産・海洋技術研究所 開発加工科 隈部千鶴
資源海洋科 椀 亮介

【研究の背景とねらい】

- ・ マリンバイオ産業振興ビジョン(2019 年 2 月)の提言に基づき、静岡県が有する「場の力」としての「海洋バイオ」を活かした新たな産業の創出を図ることが、県の政策課題となっています。
- ・ 本県の魅力ある海洋資源を活用して、マリンバイオテクノロジーを核とした研究開発を推進することで、その成果を早期に産業応用することにつなげます。
- ・ 現在、MaOI プロジェクトとして公募により提案された様々な課題について、提案機関と共同で取り組んでいます。



MaOI プロジェクトの概要図

【取り組んでいる研究課題】

1. 駿河湾生物資源ゲノムプロファイルに基づく知識発見とバイオものづくり
駿河湾で採取した海水から環境 DNA や細菌を対象としたゲノム情報をはじめとする多角的なデータを取得し、駿河湾生物資源プロファイルを構築するとともに蓄積された生物資源データから、新規有用物質を AI や情報科学的な手法を用いて効率的に利用する手法の開発を目指します。
(研究機関：早稲田大学、MaOI 機構、資源海洋科、研究期間：2026 年)
2. 静岡県の水産物・水産加工食品の網羅的機能評価と有効機能の探求システムの開発
食品の正確な評価、前未病の予防・回復への評価を技術基盤として、これまでほとんど健康機能がわかっていなかった水産物や水産加工食品について体系的な評価を行います。この成果を用いて、水産物や水産加工食品の健康機能マップを作成することを目指します。
(研究機関：東京科学大学、工業技術研究所、開発加工科、研究期間：2024～)
(作成 2026 年 4 月)